

# 日本臨床倫理学会研究費助成の公募について

2026年度の本学会員の研究費助成は4月1日に公募を開始いたします。  
研究成果は、学会誌「臨床倫理」に掲載する予定です。

**【研究内容】** ①自由課題、 ②指定課題（\*詳細は以下）

**【助成費】** 30万円を上限とする（事前に提出された概算予算の範囲内）

**【申請期間】** 2026年4月1日～8月31日（締切有効）

## 【応募規定】

- \*①研究の趣旨・概要、②研究計画書、③研究予算の概要、を提出し、審査を受ける
- \*応募者は本学会員とする（年会費を完納していること）
- \*著者（研究参加者）が複数いる場合（共著）には、全員が本学会員であることを要する
- \*「臨床倫理」に関わる研究であること
- \*学会誌に掲載する場合は、通常投稿論文と同様な査読のプロセスを経る

## 【スケジュール】

- 2026年 4月公募開始
- 8月末日、応募締め切り
- 9月下旬、結果発表予定
- 2027年 11月末日、研究成果提出、論文査読開始
- 2028年 1月論文査読終了
- 2028年 3月学会誌「臨床倫理」紙面にて論文発表

\*指定課題（例）；

日本における代諾者の実態；病院における代諾者とは誰か

趣旨；病院における治療方針や手術の代諾に際して、本人と戸籍上の名前が異なる最も親しい人（例えば事実婚）が代諾をすることが出来ないという事態が生じています。フランスでは、離婚後の母親が（子が父親の苗字のために）子の医療に代諾できない事態が起こり、改姓に関する法律が定められました。まず、日本の病院における代諾の実態について調査し、その後の代諾者に関する倫理的提案（ワーキンググループ）をしていきたいと思えます。

## 【申請方法】

- (1) 研究の趣旨・概要（A4 1枚；書式は問わない）
- ①研究費申請者および共同研究者の【氏名】【会員番号】【所属先】【住所・電話番号・メールアドレス】
- ②研究のタイトル名および趣旨（アピールポイント）
- ③研究の概要

## (2) 研究計画書

①A4 1枚程度。書式は問わない。

②大学及び病院に所属されている申請者は倫理審査委員会などの承諾を得るようご努力ください。

## (3) 研究予算の概要（備品費・消耗品費・謝金・旅費・その他委託費等）

各項目の【用途】【金額】【合計】に関する表を作成する。

\*終了時には、以下の助成金出納帳を提出する。（書式は変更可）

\*助成金に残金が発生した場合は、速やかにご返金をお願いいたします。

助成対象とならないもの；

例；パソコン、デジタルカメラ、ICレコーダー、プリンタ、シュレッダー、マイク、スライドスクリーン、プロジェクター、ソフトウェア、メモリディスク、机、椅子、かばん、その他の汎用性のあるハード機器類、当該研究に関係ない書籍購入費、学会参加費及びその旅費交通費、申請者及び共同研究者への給与・謝金、組織などの一般管理費等（汎用性のあるものとは研究活動終了後も研究者の手元に残り継続して使用できるものを指します）。

\*類似テーマで他機関から助成金を受けている研究は申請できません。

\*助成対象者・共同研究者は完了報告書提出時より2年間は申請ができません。

### 【申請書類送付先】

申請書類はメール添付にてご提出ください。

メールアドレス（担当：白土）：

[j-ethics@herusu-shuppan.co.jp](mailto:j-ethics@herusu-shuppan.co.jp)

件名：日本臨床倫理学会研究費助成申請（氏名）